



学ぶことが好きになるには・・・

木々の青葉がまぶしく、風が爽やかに感じられる季節です。

朝は、ひんやりとした空気が漂っていますが、昼間は、ぐんぐんと気温が上がり夏日になる日もあり、気温差が大きいので子供たちの体調が気になるところです。

4月には、学校運営協議会、家庭訪問、参観日、学級懇談会、PTA総会を行いました。地域の方、保護者の方には、お忙しい中、時間をとっていただきありがとうございました。子供たちの教育や育ちについて共通理解できたことを大切にしながら、日々、進めていきたいと思います。今後ともよろしく願いいたします。

さて、去る4月17日（木）に6年生が全国学力・学習状況調査（今年度は国語・算数・理科の3科目）に、5年生は4月の県確認問題に取り組みました。子供たちは途中であきらめることなく、最後まで時間いっぱい問題に取り組むことができました。それぞれの学年に応じた個別の学力の定着状況を把握し、今後の指導に生かしてまいります。

さて、毎年行われているこの全国学力・学習状況調査ですが、教科テスト以外にも児童質問紙というものがあります。いくつかの質問項目のうち「国語・算数の勉強は大切だと思いますか」「国語・算数の勉強は好きですか」という質問があります。令和6年度、全国の集計資料ですが**大切だ**と思うは、**国語 94.5 % 算数 94.6 %**とともに高い値を示しています。しかし、**好きですか**は、**国語 62.0 % 算数 61.0 %**です。このことから、子供たちは「勉強は大切」と思っている、なかなか「勉強は好きになれない」ようです。好きなことは誰に強制されるわけでもなくとも、自分から進んで行うのは大人も子供も同じです。

少しでも勉強が好きになり、さらに学力も上がればいいのですが……。では、勉強が好きになるにはどうすればいいのでしょうか。

第1に、準備をすることです。明日習うことに合わせて予習をすることです。予習をして授業に臨むと学習内容がよくわかります。

第2に、できる、分かることです。自分の力で何かができたり、大事なことが分かったりした喜びは、充実感や満足感さらには意欲につながります。

第3に、利用し工夫することです。学んだことを実生活で利用し工夫することが大切です。

このように勉強が好きになり、学力を向上させることは決して難しいことではありません。ただ、子供たちは興味があること、好きなことがほかにあって勉強は後回し？（ちょっと残念ですが・・・）

さくら小学校では、「さくら小スタイル」として、これまで身に付けてきた学習方法（リーダー学習）を生かし、子供たち同士で話し合いを行ったり、この授業で何がわかったのかを自分の言葉で書いたりする「振り返り」を授業の中に設けています。ご家庭でも「家庭学習の手引き」を参考にして、子供たちのやる気、さらには学力向上にご協力いただければと思います。

第一回学校運営協議会開催

4月14日（月）に第一回学校運営協議会を開催しました。今年度3名の委員の方が代われ総勢13名の委員、教育委員会関係者ほかの方々にご参加いただきました。協議会では、校長が「令和7年度学校経営方針」の説明を行い、その方針について委員の皆様にご承認をいただきました。また委員の皆様から様々なご意見もいただきました。

「みんなが笑顔に！大好きふるさと！」を合い言葉に「学校」「家庭」「地域」がそれぞれの役割を自覚し、実践していきたいと思っています。



今年度初めての参観日、がんばりました！

始業式から1ヶ月が経ちました。4月19日（土）は、今年度初めての参観日でした。保護者の方々に見守られ、教師も児童も心地よい緊張感に包まれながらの45分間でした。

〇1・2年生「国語」



〇3・4年生「国語」



〇5・6年生「道徳」



《R7年度 学校運営協議会委員の皆様》敬称略

遠藤 大介	地福タクシー代表取締役
矢野 英明	保護司
伊藤 繁樹	篠生自治会連合会 会長
河村 敏生	阿東地区民生委員 篠生地区分会 会長
高田新一郎	地福地域づくり協議会 会長
山本 清子	地福婦人会 会長
前田 秀子	さくら児童クラブ支援員
田尾 直樹	地福保育園 園長
根津 慶一	PTA 会長
齋藤 善子	PTA 副会長
小野 禎夫	地域学校協働活動推進員



今年度も、毎週月曜日に読み聞かせを行います。「もみの木」の方々が来校され、楽しい読み聞かせをしてくださっています。